

インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出を求める請願書

令和5年（2023）6月19日

長崎市議会議長
毎熊 政直 様

請願人 長崎民主商工会
会長 徳永 隆行
連絡先 長崎市元船町 5-11-1F



【請願趣旨】

コロナ禍が暮らしと営業の危機的状況を深刻化させています。ウクライナ侵攻に起因するサプライチェーンの混乱や円安の影響で、燃油や資材などの価格高騰、納品遅れに食費や生活必需品の大幅な値上がりがかけています。こうした影響を受け、地域経済の中心を担う中小・小規模事業者は存続の危機に瀕しており、10月からのインボイス制度の実施は、事務負担の増加を強いるとともに、免税事業者が取引から排除される恐れがあります。このままではインボイス導入を機に個人事業主・農業従事者・フリーランス・文化事業者などを廃業に追い込み、さらなる地域経済の衰退につながることは必至です。

2023年3月末時点でインボイス制度の個人事業者の登録状況は、2016年「経済センサス」時点の個人事業者数197万9019件に基づく登録率は43.2%。課税事業者110万件に基づく登録率は77.8%と登録状況は思うほど進んでいません。

インボイス導入に関しても、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、全国建設労働組合総連合、中小企業同友会、日本チェーンストア協会などこのほかにも多数の団体が、懸念の声をあげています。さらに、自民党の「責任ある積極財政を推進する議員連盟」は政府に対して2023年3月15日に「インボイス制度導入延期」の申し入れをするなど、与党内からも導入に対し疑問の声が上がっています。

この間地方議会のインボイス制度導入、延期、見直し、中止を求める意見書提出は、多数出されており、インボイス制度導入を懸念する声は確実に広がっています。


私たちは住民の暮らし、地域経済、地方行政にも深刻な打撃となるインボイス制度の導入延期を強く求め、以上の趣旨から下記事項を要望するものです。

【請願事項】

10月1日から導入されるインボイス制度の延期を求める意見書の提出を求めます。



紹介議員

長崎市議会議員 大石 ふゆき  印

同 _____ 印

同 _____ 印

同 _____ 印

同 _____ 印

同 _____ 印

同 _____ 印

同 _____ 印

同 _____ 印